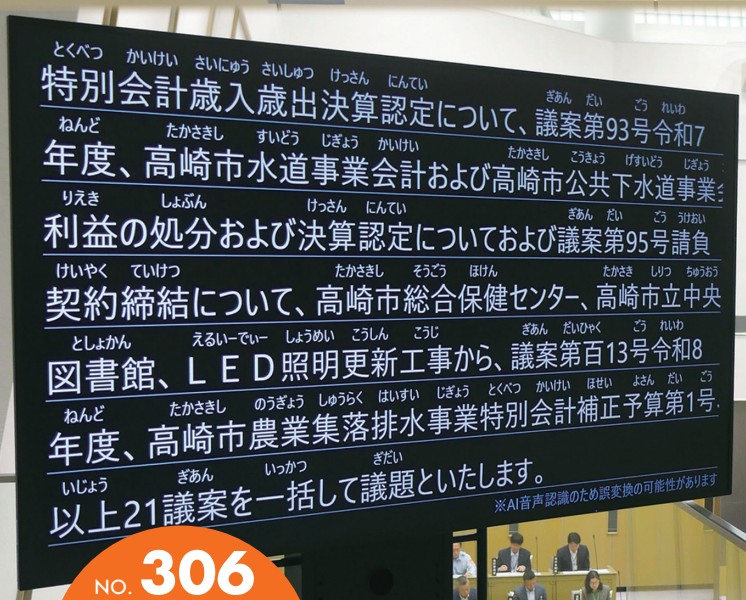
たかさき 市議会だより

Takasaki City Assembly News

高崎市議会ホームページ　高崎市議会　検索







NO. 306
2026.10.31
発行　高崎市議会
編集　広報委員会
高崎市高松町35番地1
TEL 027(321)1281

主な掲載内容

○第５回定例会の概要……2
○総括質疑……3
○一般質問……4～10
○委員会審査……11
○議案等審議結果……12

誰にでもわかりやすい議会へ 議場にリアルタイム字幕システムを導入しました。

令和８年　第５回定例会

令和７年度決算を認定

令和８年第５回定例会は、26日間の会期（９月４日～９月29日）で開かれました。

本定例会では、市長が一般会計・特別会計の決算認定などについて説明し、これに対し２会派の代表者が総括質疑を行いました。（＊詳しい内容はＰ３）

一般会計・特別会計の決算認定などの議案23件を原案のとおり可決・認定し、教育委員会委員及び人権擁護委員候補者の人事案件５件に同意しました。（＊審議結果はＰ12）

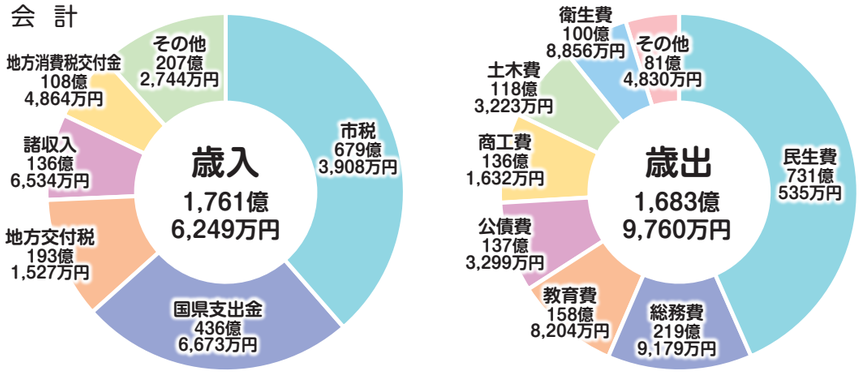
なお、請願第１号は不採択、意見書案１件は可決となりました。（＊詳しい内容はＰ３）

また、27人の議員が市政に対して一般質問を行いました。（＊詳しい内容はＰ４～10）

PICK UP　令和７年度決算を認定（議案92号、93号）

一般会計は、歳入歳出の差引額が77億6,488万円で、繰り越し財源を控除した実質収支額のうち、40億円を財政調整基金に積み立て、残りは令和８年度に繰り越しました。

一般会計



特別会計

歳入	歳出
802億9,685万円	794億6,866万円

企業会計

	収益的収入（歳入）	収益的支出（歳出）
水道事業	71億　340万円	64億3,963万円
公共下水道事業	79億8,205万円	75億8,367万円

※上記の各金額は、万円未満を四捨五入しているため、決算額の内訳と合計が一致しません。

＼上程された議案に／ 賛成！反対！　各会派の討論

＼議案第92号、93号に／

新風会

賛成　健全な財政運営とこれからの高崎の基盤となる分野への投資を評価

市税収入は過去最大となり、本市が独自に進めてきたビジネス活性化策等による市内経済の活力が税収基盤の強化につながった。また、市債の削減と財政調整基金への積み増しを進め、将来の財政需要や不測の事態にも備えた健全な財政運営が行われたと評価する。歳出については、小・中学校給食費の第２子以降無償化や道路破損箇所の迅速な補修等、限られた財源の中で今の市民生活を支えながら地域経済や子育て、都市基盤等これからの高崎の基盤となる分野への投資も進めた１年であったと評価する。

＼議案第92号、108号に／

日本共産党

反対　からすがわフルーツテラス設置に反対

本事業は年間約10万人の集客を見込んでいるが、建設費は約11億円で、今後さらに経費がかかると想定される。また、年間の委託料は約3,000万円となる。経済的効果が明確にされない状況で事業を推進することに反対する。

総括質疑

令和７年度決算などに対する総括質疑の一部を掲載します。
※QRコードから録画映像をご覧いただけます。

市民クラブ　堀口（ほりぐち）　順（すなお）

質疑　**令和７年度における決算状況の見解は。**

答弁　市税は約679億円と令和６年度から約27億円増加して過去最大となった。また、市債現在高も約97億円減の約1,359億円となるなど、健全財政と市内の経済成長を両立できたと考える。歳出においても、子育て環境の整備や高齢者福祉の充実に重点を置きつつ、新たに実施した小・中学校給食費の一部無償化や豊岡だるま駅設置、市街地再開発事業など、重点事業を着実に推進できている。財政規律を堅持しながら、かつスピード感のある力強い市政運営に取り組むことができたと考えている。

質疑　**一般社団法人高崎学童の取り組み状況は。**

答弁　放課後児童クラブの選択的委託制度の受託法人として、これまでの地域運営委員会に代わり、既に市内の107クラブのうち20クラブの運営を受託している。これまで課題であったクラブ運営に係る保護者負担については大幅な負担軽減が図られている。

たかさき未来　宮原田（みやはらだ）　綾香（あやか）

質疑　**自治体の財政力を示す財政力指数が低下している要因をどのように分析しているのか。**

答弁　少子高齢化の進展に伴う社会保障費の増加などによる基準財政需要額の増加が大きく影響していると考えるが、類似団体や全国平均と比較して高い水準を維持しており、財政構造の健全性は損なわれてないと認識している。

質疑　**堤ヶ岡飛行場跡地の開発への取り組みについて、計画の進捗状況と本市の考え方は。**

答弁　県の条例に基づく環境影響評価に着手した。また、土地区画整理準備組合も立ち上げた。本市のみならず県全体の経済の飛躍的な発展につながる貴重な地区であると認識している。

行政視察報告

他の自治体等の先進的な取り組みについて行政視察を行いました。

総務常任委員会（７月22日～24日）
- 埼玉県さいたま市：消防団の充実強化
- 北海道旭川市：ＤＸの推進
- 北海道札幌市：主権者教育

教育福祉常任委員会（７月22日～24日）
- 石川県金沢市：新金沢型学校教育モデル
- 三重県四日市市：橋北交流会館
- 愛知県豊橋市：子育て支援に関する取り組み

市民経済常任委員会（７月28日～30日）
- 東京都大田区：創業支援施設六郷ＢＡＳＥの取り組み
- 山口県下関市：有害鳥獣対策
- 福岡県大野城市：ゼロカーボンシティ実現のための取り組み

建設水道常任委員会（７月28日～30日）
- 神奈川県川崎市：富士見公園（ＦＵＪＩＭＩＸ）のＰａｒｋ－ＰＦＩの取り組み
- 愛媛県松山市：上下水道部門が一体となった災害体制の確立とＤＸを活用した実行力強化
- 香川県丸亀市：丸亀市総合運動公園施設再配置計画

広報委員会（８月25日～26日）
- 福島県郡山市：議会広報に関する取り組み
- 宮城県仙台市：若者や子供に向けた議会広報や議会だよりの編集

同意した人事案件

●教育委員会委員	廣瀬（ひろせ）　一成（かずしげ）　氏
〃	田中（たなか）　友里（ゆり）　氏
●人権擁護委員候補者	塚越（つかごし）　房江（ふさえ）　氏
〃	千葉（ちば）　照真（しょうしん）　氏
〃	久保（くぼ）　奈津江（なつえ）　氏

請願の審議結果

提出された下記の請願を審議した結果、賛成少数で不採択となりました。

●請願第１号
日本政府に「核兵器禁止条約再検討会議」へのオブザーバー参加と非核三原則の堅持を求める意見書の採択について

可決した意見書

下記の意見書を国の関係機関などに提出しました。詳しい内容は市議会ホームページをご覧ください。

●核兵器禁止条約第１回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書

市政を問う 一般質問

議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求めたり質問したりすることをいいます。　（※質問者順に掲載）



後藤　彰（新風会）

花火大会における交通・駐車対策

質問　**花火大会当日、片岡地区や乗附地区等の会場周辺の迷惑路上駐車の実態や地域住民への影響等をどう把握し、対策に反映しているのか。**

答弁　高崎まつり実行委員会への連絡や関係機関からの報告により把握している。駐車が多い箇所へ事前にパイロンや注意喚起を行う掲示物等を設置し、さらに当日の警備員等による巡回、声かけなどを行い、現状でできる限りの対策を講じている。

質問　**花火大会終了後の一斉帰宅による交通渋滞や周辺道路への車両集中についての対策は。**

答弁　公共交通機関の利用や会場から離れた駐車場の利用を促す等の周知をしているが、効果的な対策までに至っていない。来場者の安全確保や周辺環境への影響を考慮し、他の花火大会等も参考にしながら、安全かつスムーズな分散帰宅に向けた効果的な方法を研究していく。



宮原田　綾香（たかさき未来）

保育所等における医療的ケア児への支援体制
中・高生の学習環境の整備

質問　**公立保育所に看護師を配置し、医療的ケア児の受け入れ体制を整えたモデル園を設置すべきと考えるが、本市の考えは。**

答弁　医療的ケア児を長時間預かる体制の整備は、保護者の就労と子育ての両立支援に重要な視点と考える。長時間の受け入れを安全に行うためには、看護師の継続的な確保や施設整備等、多くの課題があるため、慎重に検討を進めたい。

質問　**中・高生の学習場所が不足しており、施設整備も不十分と考える。現代の学び方に合わせ、中央図書館をはじめ公共施設にＷｉ－Ｆｉを設置すべきと考えるが、市の方針は。**

答弁　図書館において、Ｗｉ－Ｆｉ整備が求められていることは承知している。費用の問題やゲーム、動画視聴を目的とする利用者の増加により、学習環境への悪化が懸念されるため、課題を踏まえた上で研究していきたい。



谷川　留美子（超党派の会）

勤労青少年ホームの
市民交流拠点としての有効活用

質問　**利用者の交流拠点として勤労青少年ホームのホールを改修し、紙コップ式ドリンクの自動販売機等を設置し、漫画や趣味の本などをそろえたブックカフェ的な空間を整備できないか。**

答弁　現在、ロビーには休息できるよう本棚や椅子を備え、自動販売機も設置し、ホールもクラブ活動等で多くの利用者がいる。スペースに限りがあるため改修は難しいが、憩える環境づくりに向け、既存の設備や運用面で工夫したい。

質問　**勤労青少年支援、市民の交流、不登校支援という複合的な役割を踏まえ、高崎市勤労青少年ホームという古くて堅苦しい名称や施設の位置付けを再検討することへの見解は。**

答弁　施設利用者や地域の方にも名称は親しまれ定着しており、名称変更の提案等はない。今後もさまざまな意見等を参考にし、利用者の交流の場となるよう適切な施設運営に努めたい。



新保　克佳（公明党）

健全財政の維持と市民サービスの継続
有害鳥獣対策

質問　**事業の見直しや優先順位をどのように考え、過度な負担を将来世代に残さないという財政運営をどう実現していくのか。**

答弁　事業の見直しは重要性や緊急性等の観点から取り組み、一般的な事務経費等も積極的な経費節減に努めている。また、将来にわたり大きな財政負担が生じないよう、市債発行は交付税措置される有利な起債を選択するほか、真に発行が必要かをよく見極めて発行額の抑制を行い、引き続き健全な財政運営に努めていく。

質問　**野生動物に対する正しい知識や遭遇した時の行動等を定期的に広報高崎等を通じて周知することが必要と考えるが、市の見解は。**

答弁　目撃情報があった地域に町内会の回覧を活用して注意を呼びかけている場合もあるが、改めて広報高崎等を通じて、広く市民に周知することも有効な方法であると考えている。

まめ知識　**●マルチモーダル輸送**　新幹線や貨物列車、地域公共交通、トラックなどの複数の異なる交通輸送手段を組み合わせた、途絶えのない大量輸送網。



三井　暢秀（市民クラブ）

相次ぐ震災、豪雨災害等の教訓を本市の
危機管理に直結させる避難所とインフラ防災対策

質問　**マルチモーダル輸送の防災計画の策定について、大量輸送のメリットや課題への見解は。**

答弁　マルチモーダル輸送は災害時に市民の生命と生活を守る観点から、有効な手法と考えるが、複数の輸送手段への積み替えによるコストの高騰など、一つの自治体では調整や解決に課題があると認識している。課題の解消や実現性について、これまでの防災施策と同様に国や県に対し必要に応じた働きかけを行っていきたい。

質問　**医療的ケアが必要な方々への電源確保、福祉避難所への実効性のある移送や受け入れ体制の現状と課題について、本市の見解は。**

答弁　自宅以外へ避難する場合、医療機器などの持ち出しや電源が必要であり、停電時の電源確保も課題となるため、災害時応援協定を締結している福祉事業者等と連携し、情報共有しながら他市の事例なども参考に研究していきたい。



高橋　淳（新風会）

地域力と防災対応力を支える
持続可能な公共事業

質問　**生活道路の修繕や水路整備、防災・安全対策など約５億円の補正予算を計上した背景と、市内小規模建設事業者への効果は。また、地域インフラや防災対策としての位置付けは。**

答弁　身近な道路や水路の整備、水害対策を迅速に行うとともに、厳しい経営環境にある市内小規模建設事業者の受注機会を創出する。生活道路の舗装補修や水路、水門の整備などを行い、市民生活の安全向上と事業者支援に寄与する。

質問　**公共事業は、地域のインフラ整備や維持管理だけでなく、地元の技術や人材、企業を維持し、災害時の対応力を支える基盤でもある。今後の公共事業をどのように進めていくのか。**

答弁　必要な公共事業を計画的かつ継続的に実施し、地域経済と雇用を守るとともに、災害対応力を平時から確保し、持続可能な地域社会の形成と災害に強いまちづくりを推進していく。



新倉　哲郎（超党派の会）

学校給食時の環境

質問　**現在、小・中学校で給食時の机の配置や給食時間の過ごし方はどのような状況か。**

答弁　コロナ禍では、一人一人が前を向き、児童・生徒の間に一定の距離を確保する等の措置を講じ、食事中の会話を控える黙食等の対策を行っていたが、現在はグループ形式に戻した学校が約２割、前向きでの食事を継続している学校が約８割となっている。

質問　**学校給食時の環境について、児童・生徒や保護者を対象とした実態調査を実施し、その結果を踏まえながら、より良い給食環境について検証、改善していく考えはあるのか。**

答弁　実態調査は、まずは各学校が自校の状況を踏まえ、生の声を丁寧に把握し、より良い給食時間の環境づくりを進めることが大切である。教育委員会が持つ各学校の情報を共有する等、相談対応や助言に努めていきたい。



柄沢　高男（無所属）

今年の熱中症対策
本市の感染症対策

質問　**国においては、熱中症対策実行計画の策定や、労働安全衛生規則の改正による職場における熱中症対策の強化が進められているが、本市ではどのような取り組みをしたのか。**

答弁　熱中症警戒アラート等の発令時に公式ライン等を通じて迅速に注意喚起を行っている。また中小企業等への支援として、令和２年度より職場環境改善事業補助金を通じて職場における空調設備等の導入支援を進め、令和８年度からは特別枠を設け、農業従事者を対象としたファン付き作業服の導入に対する補助も開始した。

質問　**本市における感染症対策の概要は。**

答弁　感染症対策は多角的なアプローチを重層的に展開していくことが不可欠であると認識している。本市では、主に予防接種、発生動向の把握と疫学調査、普及啓発、そして危機管理体制の確保の４点を柱として推進している。

まめ知識 ●境界知能

ＩＱ（知能指数）が70～85程度で、知的障害には診断されないグレーゾーンの状態にあり、一見すると普通に日常生活を送れているように見えるため、誤解されやすい。



丸山　覚（公明党）

大人の「早寝・早起き・朝ごはん」
身寄りのない高齢者支援の強化

質問　早寝、早起き、朝ごはんは、大人にも生活機能を保つ上で重要であるが、この意義を分かりやすく伝えるための本市の取り組みは。

答弁　特定健診等の受診結果に基づき、保健指導の中で睡眠や朝食に関する具体的なアドバイスを行っているほか、睡眠に関する市民公開講座を開催し、正しい知識の普及にも努めてきた。今後も市民の生活習慣病予防と健康寿命の延伸に向けて取り組んでいきたい。

質問　身寄りのない高齢者が安心して暮らしていくためには、高崎市社会福祉協議会と連携し、それぞれの役割を明確にして支えていくことが大切であるが、本市の果たす役割は。

答弁　社会福祉法等の改正により身寄りのない方への包括的な支援が可能となったため、実施主体となる高崎市社会福祉協議会の体制整備を支援し、一体となり運用強化に努めていきたい。



横田　卓也（市民クラブ）

堤ヶ岡飛行場跡地開発に伴う交通インフラ整備
加齢性難聴者の対応

質問　堤ヶ岡飛行場跡地開発エリア周辺の道路整備の方針や計画についての市の見解は。

答弁　周辺の交通環境には十分な配慮が必要だと認識している。地域や学校関係者の方々と協議を行いながら、最適な安全対策を施したい。

質問　補聴器購入費助成制度の導入についての市の考えは。

答弁　全国的に導入する自治体が増加傾向で、社会的にも大変関心が高まっている施策であると認識している。一方で、難聴対策を実効性のあるものとするため、助成制度の検討のほか、難聴が社会参加や認知機能等に及ぼす影響の正しい理解を深めることや早期の受診へつなげる啓発、支援を一体となって進めることが不可欠である。引き続き、聞こえの講話等を活用した受診勧奨の取り組みが重要と考えるが、市の財政状況等を考慮しながら制度導入を検討したい。



渡辺　隆宏（新風会）

本市の学校教育

質問　特別支援教育の対象にはなりにくい、いわゆる境界知能の児童・生徒について、本市としてどのような課題認識を持っているか。

答弁　令和４年に実施した文部科学省の調査によると、通常学級に在籍する児童・生徒の中で学習面または行動面で著しい困難を示す児童・生徒の割合は、小学校で10.4％、中学校で5.6％という結果が出ており、本市でも一定数在籍している。早期に把握することが重要であると認識しており、学校全体で支援する体制を構築し学校生活が円滑に送れるよう支援している。

質問　教育現場の学校支援員のニーズの増加を踏まえ、支援員の増員配置が必要だが、見解は。

答弁　本市には現在130人の学校支援員がおり、学校規模と学校ニーズを考慮した上で、各学校に１～４人配置している。今後も学校支援員の確保に努めるとともに効果的な配置を検討する。



三島　久美子（たかさき未来）

災害対策
小学校の早朝７時開門

質問　災害時における備蓄物資は、どのような被害想定に基づいて備蓄し、被災者にどのような方法で届けていくのか。

答弁　地域防災計画に基づき、地震被害想定による避難所生活の３日分の食料や飲料水等を備蓄している。市職員や災害時応援協定の締結先である物資提供事業者等と連携して避難所へ配送し、車中避難者等の把握にも努めて配布する。

質問　ＢＳ－ＴＢＳ「噂の！東京マガジン」で早朝開門が取り上げられたが、取材対応は。また、本市の責任者は顔も名前も出さず、ただコメントがテロップで流れただけなのはなぜか。

答弁　本取り組みの趣旨に誤解が生じないよう説明し、児童のプライバシー保護等にも配慮を求めた。また番組内で発言の一部が断片的に切り取られることで、本取り組みの目的や意義等に誤解が生じないようテロップでの対応とした。



林　恒徳（市民クラブ）

学校敷地内にある放課後児童クラブの午前中の利活用

質問　市内の放課後児童クラブで、クラブ開所前の午前中に、クラブの支援員が不登校児童を預かる事業を実施してはどうか。

答弁　放課後児童クラブを所管する福祉部としては、施設にクラブ利用者の私物が保管されているため、クラブ利用者以外が利用する際のセキュリティー面で課題がある。また、クラブ支援員の確保、時間外勤務の管理等さまざまな課題が考えられる。不登校支援を所管する教育委員会としては、クラブ支援員を不登校児童の支援に活用することは、午後から本来の業務があり、不登校児童の支援に携われるのが午前中に限られる等、勤務時間の点で課題がある。今後、不登校児童の支援拡充の際は人材確保が重要となるため、教員免許を持つクラブ支援員にも声をかける可能性もある。今後関係部署と情報共有しながら、研究していく。



大竹　隆一（新風会）

吉井地域の産業団地開発及び今後の計画
災害対策と防止策

質問　吉井地域を産業団地の候補地として選んだ理由は。

答弁　高崎市第６次総合計画や高崎市都市計画マスタープランに位置付けた、高速道路のインターチェンジ周辺を産業集積拠点として整備を図るという方針に合致する吉井地域の西部を、新たな産業団地の予定地とした。

質問　深谷断層帯上にある南八幡備蓄倉庫が被災した場合、どのように対処するのか。

答弁　本市の防災備蓄物資については、災害発生時に迅速に物資を供給できるよう市内各地域に分散して備蓄し、相互に物資を補完することを想定している。本市のみで対応が困難な場合、災害時応援協定を締結する自治体等と連携し物資の調達を図ることとしているが、災害時は自助や共助が重要なため、個人の防災意識の向上につながる取り組みの周知、啓発に努めたい。



後閑　賢二（新風会）

消防団の現状と対応策

質問　消防団員の不足は長年の問題である。団員の不足解消には企業への働きかけが大事であるが、地元企業への協力依頼の取り組みは。

答弁　消防団員を雇用する建設業者に対して、入札時の建設工事格付けの点数化の際に、事業主か従業員が本市の消防団員台帳に登録されている場合、人数に応じて点数を付与する制度を設けている。この制度を運用しながら継続した団員確保対策を推進していきたい。

質問　機械要員には消防ポンプ車の日常の管理等が委託されており、一般団員と比べて責任と任務の量が違うが、機械要員に対する手当は。

答弁　報酬として年額４万４千円が個人口座へ支給されており、また、出場等交付金として１人当たり３万３千円が分団口座へ支給され、費用弁償として機械要員の手当などへ有効に活用されている。



小野　聡子（公明党）

子どものケアを担う母親の就労支援
高校生の学習環境と自習スペースの充実

質問　障がい児や医療的ケア児の継続した通学支援に対する見解は。また、障がい児や不登校等の子どものケアと仕事を両立するための、介護休業等の制度周知に対する対応は。

答弁　継続した通学支援について、運用課題等を検証し、他自治体の実施状況を参考にしながら支援策を研究していく。また、ケアと仕事の両立支援の制度周知について、関係機関と連携を図り、企業等の一層の理解、啓発に努める。

質問　Ｗｉ－Ｆｉ環境等を含め、高校生の学習環境と自習スペースの充実についての考えは。

答弁　高崎経済大学附属高校では、午後８時30分まで自習室を開放し、中央図書館では、令和８年６月に学習室の座席を増設した。今後も高校生等のニーズを踏まえ、既存公共施設の有効活用やＷｉ－Ｆｉ環境整備等を含めた学習環境の充実について研究していく。

まめ知識 ●ナビレンス　カラフルな２次元コードおよびアプリで、壁や案内板などに設置された２次元コードをスマートフォンのカメラで読み取ると、方向、距離、目的地情報を音声で教えてくれる情報案内システム。



中島　輝男（市民クラブ）

障害者、高齢者への支援

質問　**ナビレンスの市有施設への導入により視覚障害のある方も便利になるが、本市の考えは。**

答弁　ナビレンスの市有施設への導入は市民サービスの向上およびバリアフリー化に寄与すると考える。視覚障害のある方のニーズの把握に努め、さまざまな支援ツールについて公共施設に適した方法やその効果を研究していきたい。

質問　**高齢者の移動に便利なシニアカーの有用性をどのように考えるか。また、シニアカーの購入に当たっての補助制度を導入する考えは。**

答弁　シニアカーは徒歩での移動が困難な高齢者にとって、自宅周辺などの移動において、大変有効な手段と認識している。また購入補助については、運転免許証の自主返納者等に対する移動支援の一環として制度を導入している他自治体の事例や効果、本市での実際のニーズの把握に努めながら、引き続き研究していきたい。



渡辺　幹治（新風会）

倉賀野駅のバリアフリー化

質問　**倉賀野駅バリアフリー化のための調査費用が、令和８年度の予算に盛り込まれているが、調査はどの程度進んでいるのか。**

答弁　令和７年度に駅舎や線路、付属施設の配置をはじめ自由通路の構造を確認し、課題を洗い出すための基礎的調査を実施した。令和８年度は、今後の設計等に必要なデータを収集するための現況測量を実施し、その結果を基にＪＲ東日本などと協議を進めていく。

質問　**倉賀野駅は構造上特殊な駅であり、また駅舎が建設され50年以上経過しているため、事業を本格化するには課題があるが、対応は。**

答弁　エレベーターは４基設置が必要であり、自由通路も改修または架け替えなど、細部にわたる検討が必要である。全てを同時に解消することは難しいが、関係機関と協議を重ね一つ一つの課題に対し丁寧に取り組んでいきたい。



石川　徹（新風会）

鳴沢湖と土地改良区の現状

質問　**土地改良区が地域農業に与える影響と役割の重要性をどのように認識しているのか。**

答弁　土地改良区には、広大な農地へ水を供給するための水路やため池、農業用施設の適切な維持管理や運営に長年にわたり尽力してもらっており、農家が安心して営農するために不可欠なものであると認識している。

質問　**令和９年度に群馬県主体で鳴沢湖の堰堤調査を実施する予定だが、本市の対応は。**

答弁　鳴沢湖の水を抜いてから、堰堤の構造や強度の調査を行う予定であるため、施設所有者である本市としても、調査が円滑かつ確実に実施できるように県や土地改良区と緊密に連携していく。また、調査結果に基づき改修等の必要が生じた際には、必要な予算確保を含め、防災・減災対策の重点的な推進に向けて、県とともに一体となって適切に対応していく。



金子　和幸（日本共産党）

必要とするすべての児童・生徒が利用可能な教育支援センター

質問　**小学生の教育支援センターへの送迎は原則保護者とされているが、仕事等のさまざまな事情で保護者の送迎ができない場合の対応は。**

答弁　これまでにも公共交通機関の利用を検討したが、児童の安全を第一に考え、保護者の送迎をお願いしている。都合がつかない場合は保護者の申請により、祖父母等の親族や保護者が認めた知人などの送迎についても認めている。

質問　**教育支援センターの開所時間を早めたり、施設数を増やし、通いやすくすることで送迎の可能性が広がると考えるが、本市の考えは。**

答弁　さまざまな要望があるが、全てを満たすことは非常に難しい状況である。現在は開所時間を通室しやすい時間帯の午前９時から午後３時としている。また、設置数は８カ所と県内で最多、人口同規模の前橋市と比べて２倍の設置箇所数のため、現時点で増設は考えていない。

まめ知識 ●グランドデザイン　全体的・長期的な構想や将来あるべき姿の基本設計図。



高橋　美奈雄（市民クラブ）

令和８年熊本地震を教訓とした上下水道耐震化
本市におけるＡＩ活用の現状と課題

質問　**令和８年熊本地震を踏まえ、今回の被害を教訓として既存の防災計画や上下水道の事業計画に反映させる考えはあるのか。**

答弁　今回の地震で、管路の耐震化の遅れが発災直後のみならず中長期的な市民生活のまひに直結することが課題となった。こうした課題を踏まえ、さらなる上下水道耐震化計画の推進、応急復旧等を既存計画に反映していきたい。

質問　**本市では現在、生成ＡＩをどのような業務で活用しているのか。また、市民サービスの向上につなげる等の成果は得られているのか。**

答弁　文書作成のほかプレゼンテーション用のスライド作成や会議の音声データから議事録を作成するなど、活用範囲は大きく広がっている。市民課では、手続きの際に書かない窓口を導入する予定であり、負担軽減や待ち時間の短縮という効果を市民に実感してもらえると考える。



荒木　征二（たかさき未来）

本市の映画文化
ＩＣＴ化推進

質問　**シネマテークたかさきの独自性を尊重しつつも、一歩進んだシネマテークたかさきとの連携や支援の在り方について、市の考えは。**

答弁　本市にとって重要な映画文化の発信拠点であり、施設等の維持、継続に課題がある中で、耐用年数を経過し不具合が生じている映写機の購入補助のために補正予算を上程している。今後も自主性や独自性を尊重することを前提とし、安定して事業を継続できるよう意見交換を重ねながら映画文化の維持、発展に取り組みたい。

質問　**公立保育所ＩＣＴ化に対する市の考えは。**

答弁　事務効率化等の効果が一定程度あると認識しているが、ランニングコストの課題や保育の質を損なうことがないか慎重に見極める必要がある。先行して導入している他市の事例や運用上の課題等を参考にしながら、保育現場に最も適したＩＣＴの在り方について研究していく。



伊藤　敦博（日本共産党）

倉渕ダムが本市に及ぼす影響
車がなくても暮らせるまちづくり

質問　**倉渕ダム建設予定地である倉渕の烏川源流地域が果たす水源涵養林としての役割は。**

答弁　水源涵養林は雨水を地中に蓄え、ゆっくりと川へ流すことで、洪水の防止や川の水が枯れるのを防ぐ機能を持ち、自然環境の保全、水源の安定確保や自然災害の防止など市民の安全で豊かな生活基盤を支える役割を担っている。

質問　**おとしよりぐるりんタクシーはルートの新設や運行エリアの拡大により利用者が増加しているが、今後の展開や計画についての考えは。**

答弁　令和９年３月に予定しているＪＲ信越線の新駅、豊岡だるま駅の開業を控え、新たに豊岡地区において導入予定である。今後もこれまでと同様に、地域の高齢化率や既存の公共交通の状況、地形的な要因などの地域特性を考慮するとともに、市全体の財政状況なども踏まえ、優先順位を見極めながら検討していく。



堀口　順（市民クラブ）

高崎観音を中心とした観光施策及び観音山丘陵周辺の整備
教育問題諸課題

質問　**本市のにぎわいを取り戻すためには、グランドデザインを策定し、白衣大観音を中心とした観光施策を展開していくことが必要不可欠な要件であると考えるが、今後の取り組みは。**

答弁　高崎の象徴である白衣大観音をはじめ、ケルナー広場など観音山全体を本市の魅力的な観光エリアとして位置付け、より多くのにぎわいが生まれる仕掛けづくりに取り組んでいく。

質問　**新学習指導要領を見据えたＡＩを含む情報教育の進め方は。また、学校におけるカスタマーハラスメントに対する取り組みと対応は。**

答弁　次期学習指導要領に基づき、生成ＡＩを学習面で活用する場合の安全で効果的な方法の研究を進める。また、過度な苦情や不当要求には、建設的な話し合いになるよう努めており、保護者や地域の方との良好な関係の構築、児童・生徒を守るための体制整備を検討していく。

●受援体制　大規模災害時などに国や他自治体、民間企業、ボランティア等から人的・物的支援を円滑に受け入れ、有効に活用するための仕組みや組織体制。

●基準財政収入額　地方自治体の財政力を合理的に測定するために、地方自治体の標準的な税収入の一定割合により算定された額。

まめ知識 **●防災士**　災害時の避難方法や応急救助などの知識や技能を学んだ人を特定非営利活動法人日本防災士機構が認証する民間資格。自助・共助・協働を原則として、災害時に被害を軽減し、平常時にも地域や職場で防災啓発を行う役割を担っている。市内の防災士登録者は令和８年７月時点で671人となっている。



逆瀬川　義久（公明党）

大規模災害時の相互応援
高崎市の財政状況

質問　**大規模災害時の本市の受援体制は。**

答弁　本市職員だけでは対応が困難になることも想定されるため、県や他の中核市等との連携強化や災害対応訓練に引き続き努めていく。

質問　**市が自由に使い道を定められる一般財源の推移および一般財源で大きな比率を占める市税と普通交付税額決定の関係性は。**

答弁　一般財源は、市税や国から交付される地方交付税等が主な内訳であり、平成23年度は約957億円、令和７年度は約1,133億円と、市税収入の増加等に伴い増加傾向である。市税と普通交付税額の関係性は基準財政収入額算定の際、市税収入等の75％相当額が算入され、普通交付税の交付額が減少するが、25％相当額は市の手元に残る。企業誘致等の取り組みにより市税収入が増加していくと、その25％相当額が自主的に活用できる財源として純増することになる。



大河原　吉明（新風会）

本市における防災力強化

質問　**最近の国内で発生した自然災害の傾向を踏まえ、本市としての防災対策の見解は。**

答弁　昨今、全国各地で局地的な大雨や地震が発生し、災害の頻発化、激甚化が顕著である。これまでの取り組みを継続するとともに、浸水被害を未然に防止するため、排水施設の点検や改修等を速やかに講じていく。また避難所における暑さ対策等の課題に対し、避難所となる小・中学校の体育館の空調整備を順次進めているが、過渡期の対応としては冷風機の導入、発電機等の配備等の避難所環境の改善に取り組んでいく。

質問　**市の防災力強化のための防災士の活用は。**

答弁　近年の激甚化した災害では、特に発災直後の避難所開設や要配慮者支援など、現場における人的資源の必要性が高く、本市としても防災士が持つ専門知識や技能を生かし、より実効性の高い防災体制の構築について研究していく。



角倉　邦良（超党派の会）

倉渕ダムの問題点

質問　**令和８年第４回市議会での倉渕ダム建設に関する一般質問の答弁で、本市は倉渕ダム建設についてはニュートラル、要するに中立という発言があったが、再確認する。**

答弁　ニュートラルな立場である。現時点では国から具体的な計画内容等が示されていないため、判断材料がないことから、市としての方針を決定する段階にはないということである。

質問　**倉渕ダムの建設が決まる前に、国に対して意見を言うこと、そして、言うべきことを言っていくという本市の姿勢を見せられるのか。**

答弁　国において調査、検討が始まった段階であるため、計画の全体像や具体的な影響が明らかになっていない。そのため、本市としてどのような意見を述べるのかといった判断には至っておらず、まずは今後の調査の進捗や国の動向を注視していきたい。

市議会の予定

11月	定　例　会	
30日（月）	午後１時	開会、会期の決定、議案の提案説明など
12月		
１日（火）	午後１時	一般質問
２日（水）		
３日（木）		
４日（金）		
８日（火）	午前10時	総務常任委員会
	午後１時30分	教育福祉常任委員会
９日（水）	午前10時	市民経済常任委員会
	午後１時30分	建設水道常任委員会
15日（火）	午後１時	委員長報告、議案等の議決、閉会

委員会審査

常任委員会および特別委員会において、付託された議案などを審査しました。
質疑、答弁の一部を掲載します。

総務常任委員会

質疑　高崎ブランド・シティプロモーション事業の内容と成果は。

答弁　絶メシリストを継続して運用したほか、ＰＲ映像制作事業として、グーグルやユーチューブ等のインターネット広告を活用し、本市のプロモーション映像を県内外に向けて発信する取り組みを実施した。いずれも本市の魅力を発信し、知名度やブランド力の向上につながったものと考えており、特にＰＲ映像制作は、３万～４万回視聴される等、本市のＰＲに効果があったものと考えている。

教育福祉常任委員会

質疑　公民館の空調設備の更新工事の内容は。

答弁　令和７年度は不具合が発生した堤ヶ岡公民館の集会ホールのほか、６件の改修工事を実施した。

質疑　高齢者福祉なんでも相談センターへの相談件数の内訳と相談内容は。

答弁　令和７年度の相談件数1,000件のうち、来所相談は373件である。相談内容は、介護保険サービスの利用や施設入所に関すること等に加え、頼れる身寄りがいない場合の将来の不安に関する相談や話し相手になってほしい等、幅広く受け付けている。

市民経済常任委員会

質疑　子ども医療費助成扶助費の対象が高校生まで拡大されたことによる影響は。

答弁　対象拡大前の令和４年度との比較では、受給者数は5,512人の増加で12.79％の増加、扶助費は約４億9,558万円の増加で33.49％の増加であった。

質疑　まちなか経済情報センターの利用実績は。

答弁　各種補助制度の申請支援や雇用等の経営全般に関する相談等を中心に、約2,300件の相談を受け付けた。利用者からは、経営改善や新たな事業展開の具体的な見通しが立った等、高い評価を得ている。

建設水道常任委員会

質疑　水道料金情報化推進システム事業補助金の具体的な事業内容は。

答弁　本補助金を活用し、水道事業において既存システムの改修等を実施した。令和７年10月から新たにペーパーレス通知サービス、上下水道使用料金の口座振替依頼のウェブ受付、クレジット収納への対応という３つのサービスを開始した。

質疑　下水道管更生事業の取り組み状況は。

答弁　主に高崎駅東口周辺で調査を行い、老朽化が進む高崎駅西口周辺では、管更生事業を実施した。

子育て支援・定住人口増加対策特別委員会

質疑　本市の児童相談所における一時保護期間と一時保護に至る主な理由は。

答弁　期間は１児童当たり平均約27日である。主な理由は身体的虐待等の虐待、保護者の精神的不安や孤立に起因する家庭養育の欠如等によるもの、次いで、非行や児童の性格行動等となっている。

環境施設調査特別委員会

質疑　新旧の最終処分場の埋め立て可能年数は。

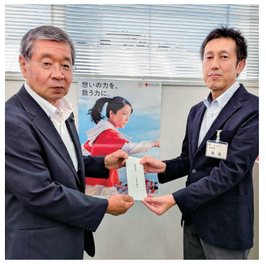
答弁　エコパーク榛名の敷地面積は12万4,202平方メートルで、令和15年度に、予定している埋め立て容量に達する見込みである。次期最終処分場は約18万平方メートルを予定しており、おおむね30年程度は埋め立てが可能となる計画である。

都市集客施設整備特別委員会

質疑　スマートＩＣ周辺整備事業のＡＢ地区連絡橋の進捗状況と今後の予定は。

答弁　地質調査が完了し、関係機関との協議や集客施設側との調整を図りながら、詳細設計業務を進めている。今後は埋蔵文化財発掘調査に着手し、集客施設側の進捗状況を踏まえて、連絡橋の工事着手に向けて準備を進めていく。

高崎市議会、熊本地震で寄附



高崎市議会は令和８年熊本地震の被災者を支援するため、各市議１万円、計38万円を日本赤十字社の災害義援金に寄附しました。

議案等審議結果

件名		結果
報告		
第10号	専決処分の報告	–
議案		
第92号	令和７年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定	認定（多数）
第93号	令和７年度水道事業会計及び公共下水道事業会計利益の処分及び決算認定	可決及び認定
第94号	市道路線の認定	可決
第95号	請負契約締結（総合保健センター・中央図書館ＬＥＤ照明更新工事）	可決
第96号	土地取得	可決
第97号	財産の取得（小型バス）	可決
第98号	認可地縁団体印鑑条例の一部改正	可決
第99号	認定こども園の認定に関する要件を定める条例の一部改正	可決
第100号	幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第101号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第102号	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第103号	一時保護委託者の登録等に関する基準を定める条例の制定	可決
第104号	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第105号	指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第106号	指定障害児入所施設等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第107号	廃棄物の処理及び清掃に関する条例及びごみ処理施設及び一般廃棄物の最終処分場に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部改正	可決
第108号	からすがわフルーツテラス設置及び管理に関する条例の制定	可決（多数）
第109号	景観条例の一部改正	可決
第110号	水道事業、簡易水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部改正	可決
第111号	令和８年度一般会計補正予算（第４号）	可決
第112号	令和８年度介護保険特別会計補正予算（第１号）	可決
第113号	令和８年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第１号）	可決
第114号	校外学習中の事故に係る損害賠償に関する和解及びその損害賠償の額を定めること	可決
第115号	教育委員会委員の任命同意	同意
第116号	教育委員会委員の任命同意	同意
第117号	人権擁護委員候補者の推薦	同意
第118号	人権擁護委員候補者の推薦	同意
第119号	人権擁護委員候補者の推薦	同意
請願		
第１号	日本政府に「核兵器禁止条約再検討会議」へのオブザーバー参加と非核三原則の堅持を求める意見書の採択	不採択（少数）
意見書案		
第１号	核兵器禁止条約第１回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書	可決（多数）

※認定（多数）、可決（多数）、不採択（少数）表記以外は全会一致です。

賛否一覧表（上記議案等審議結果で賛否が分かれたものについて掲載しています。）

会派名	新風会 18人																									市民クラブ 6人						公明党 5人					たかさき未来 3人			超党派の会 3人			日本共産党 2人		無所属
議員名 / 議案等番号	渡辺 隆宏	高橋 淳	樋口 哲郎	大河原吉明	青木 和也	後藤 彰	時田 裕之	青柳 隆	根岸 赴夫	渡辺 幹治	白石 隆夫	長壁 真樹	大竹 隆一	松本 賢一	石川 徹	後閑 賢二	丸山 和久	柴田 和正	横田 卓也	三井 暢秀	中島 輝男	林 恒徳	堀口 順	高橋美奈雄	中村さと美	小野 聡子	新保 克佳	丸山 覚	逆瀬川義久	宮原田綾香	荒木 征二	三島久美子	新倉 哲郎	角倉 邦良	谷川留美子	金子 和幸	伊藤 敦博	柄沢 高男
議案 第92号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議案 第108号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
請願 第１号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	×
意見書案第1号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※起立採決により、賛成として起立した者は○、起立しなかった者（継続して審査を必要とすると判断した者を含む）は×としています。議長は採決に加わらないため、斜線としています。

議会を見てみよう

傍聴席で

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会棟５階にある傍聴受付で住所・氏名を記入して入場してください。

傍聴席は、車いす用の２席を含め78席あります。

ぜひお出かけください。



インターネットで

本会議の模様をライブ中継や録画配信しています。

市議会ホームページの「議会中継・会議録検索システム」からアクセスしてご覧ください。

スマートフォンやタブレット端末からもご利用いただけます。



リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
VEGETABLE OIL INK 「環境にやさしく」をモットーに大豆油インキを使用しております。